



人生の分水嶺に立ちて



乗鞍岳登頂のご夫妻



合同研修会にて講演

村上 貴公 様 節代 様ご夫妻

2月14日開催された恒例のさい帯血採取従事者・ボランティア合同研修会において、約4年前さい帯血移植を受けられた加古郡稲美町在住の村上貴公様及び奥様の節代様による「さい帯血移植を受けて」副題：人生の分水嶺に立ちて、の講演が行われました。

今はお元気になられている貴公様の難病の告知を受けられた後、さい帯血の移植による治療及びそれを支えた奥様との二人三脚による病との闘いの8年間の記録、またその後お元気になられた現在でのご様子等のお話をお聞きすることができました。登山のお好きな村上様は日本アルプスを始めとする高い山々に登られ移植後日本最高所の分水嶺（乗鞍岳）にもお立ちになりました。これからも、いつまでもお元気に人生を歩まれますようお祈り致します。

従来より合同研修会においては、さい帯血を採取或いは提供する立場の方々の話が多かったのが、今回は移植を受けられた方の体験談をお聞きすることができ、非常に充実したものになりました。研修会参加者の皆さまから頂きましたアンケートにも、感動の声が多く寄せられていました。

『村上さんの臍帯血移植を通じて学んだこと』

神鋼病院 血液内科
医 長 伊 藤 仁 也



「年齢が67歳ですか？他にドナーはいないのですか？」「臍帯血移植+高齢は生着不全のリスクは増えるのではないですか？」「移植前に生じたアスペルギルス肺炎は完治していると考えるのですか？」

移植適応を決めるために行われた移植カンファレンスの模様です。67歳という高齢であること、感染症の芽がまだ十分摘まれていないという理由から、1回目のカンファレンスでは、移植決定は保留となりました。2回目のカンファレンスでは、当時高齢者の臍帯血移植経験が最も多かった虎ノ門病院が61歳以上では、有意に合併症が増え、生存率も低かったと報告を行ったことから、臍帯血移植の適応はなしという方向に意見がまとまりかけていました。

そんな時、ご本人、ご家族は移植を大変良く勉強されていて、力強い決意が綴られた手紙を渡されたというエピソードが紹介され、移植を受けたいという強い意志がある患者さんに対して年齢が少し高いという理由で断るのはおかしい。移植のリスクをもう一度説明した上で臍帯血移植を行おうと決定したことをよく覚えています。又この時点で、私達の施設ではそれまで行われた移植の中で最も年齢が高い移植を行うことになりました。早速、移植チームが生まれ、準備を行いました。①感染症対策を十分に行い早期対応できるようにすること②生着不全の対策をたてること③寝たきりになり運動機能が失われないような対策をたてることなどを決めました。

感染対策では細菌感染に対する監視培養はもちろん私達が開発した12種類のウイルスを毎週迅速で網羅的に調べる方法を毎週行うことにしました。また生着不全対策としては、セカンドドナーをあらかじめ準備することに加え、臍帯血移植の際にごく少量バッグに残存した臍帯血リンパ球を培養により1000倍に増やし、生着不全の際にはドナーリンパ球輸注（DLI）が行えるよう培養、保存しました。生着までの期間が長いことが予想されたので、看護チームは、ベッド上で行える運動などを考案しました。予想していた通り、生着にはやや時間がかかり、敗血症やウイルス感染症を併発しましたが、村上さんは強靱な精神力と家族の支えにより合併症を克服され、移植前から目標にしておられた3000m超である乗鞍岳登山を成功させました。外来でお話を聞いた時には鳥肌が立ちました。（ひとつは感動、ひとつは、軽い登山は許可したもののまさかいきなり乗鞍岳という驚き）

現在、移植専門医の間でも65歳以上の高齢者に対する移植適応をどうするのか結論は出ていません。村上さんが移植後に乗鞍岳を制したことは移植に携わる全ての人に勇気と自信を与えてくれただけでなく、移植の適応とQOLとはどのようなものなのかを具体的に示してくれたものでした。

2012
2/14

さい帯血採取従事者・ボランティア合同研修会



ボランティア合同研修会 会場風景

兵庫県赤十字血液センターにて70数名のご出席の下、合同研修会が開催されました。まずは、当バンク及びネットワーク活動状況の報告に始まり、搬送ボランティア及び国際社会奉仕団体からの支援活動の報告がありました。また、さい帯血移植を受けられた村上貴公様及び奥様から副題「人生の分水嶺に立ちて」とするご体験談と、当バンク原宏副理事長から「NPO法人兵庫さい帯血バンクの更なる充実を目指して」とする話の2相の講演があり有意義な研修会となりました。

兵庫さい帯血バンク 事業報告



後藤 理事長



兵庫県 業務課 三村 課長



兵庫さい帯血バンク 聖田 事務局長



甲斐 教授



原 副理事長



丸尾 副理事長

ボランティア様 報告



西神白ゆりグループ
山中 様



あさぎりカトレアグループ
加納 様

支援団体様 報告



国際ソロプチミスト神戸 石野 様



「順き」 毎野 様



大森スマイルグループ
北野 様



西宮ホワイトライオンズクラブ 田中 様



採取病院紹介 第16回

兵庫県立西宮病院

産婦人科部長 信永 敏克

当院は、阪神南地区に位置し、腎移植手術500例を達成したことをはじめ、がん診療においては、兵庫県がん診療連携推進病院としても指定されています。

また、地域周産期母子医療センターの認定を目指し、年間800件の分娩、母体搬送70~100件を受け入れ、その役割を担っております。同じフロアーにNICUがあり、新生児搬送も受け入れております。

産科では、助産師による妊婦相談や保健指導を始め、両親学級を通じて、妊娠、分娩、産褥を一貫して産科スタッフが、かかわるよう、取り組んでいます。

産後は母子同室を勧め、退院後の赤ちゃんとの生活や育児がイメージできるよう、授乳をはじめ、沐浴、赤ちゃんとの過ごし方など説明と、経験をしていただいています。

臍帯血バンクは当初から参加させていただき、ポスターの掲示、両親学級での説明や、外来受診時に同意書の確認など積極的に働きかけています。しかしながら、救急の受け入れ搬送や緊急時など、臍帯血バンクの同意を得ることができず、登録数が伸び悩んでいます。

白血病の患者さんにとって、大切な命をつなく、臍帯血バンクを今後も引き続き呼びかけ、一人でも多くご協力いただけるよう、努めて参りたいと思います。



おなかの赤ちゃんのパパとママへ両親学級
毎週水曜日 午後2時~4時 4回コース



助産師による妊婦保健指導外来診療時間に合わせて、妊婦さんの生活や悩み相談を行っております。

ご支援の皆さまありがとうございます

2011 西宮ホワイト
10/15 ライオンズクラブ 様

第15回
西宮酒蔵ルネッサンス
チャリティバザー



2012 西宮ホワイトライオンズクラブ 様
1/11 広田神社での祈願・寄付贈呈



2012
3/13

西宮ホワイトライオンズクラブ 様

兵庫さい帯血バンク支援ゴルフ大会

場所 三田ゴルフクラブ



兵庫さい帯血バンクの活動ご報告

2011 第7回 兵庫さい帯血バンク 10/28 チャリティゴルフ大会



第8回 兵庫さい帯血バンクチャリティゴルフ大会のご案内

兵庫さい帯血バンクでは、昨年に引き続きチャリティゴルフ大会を下記の通り開催することといたしました。このゴルフ大会を通じて当バンクの支援者拡大と財政支援を期したいと存じます。趣旨にご賛同いただく方々をお誘いの上、多数のご参加を頂きますよう御願いたします。

1. 日 時：平成24年10月26日(金)
2. 場 所：三木よかわカントリークラブ
〒673-0753 三木市口吉川町横字長尾谷487-68
電話 0794-88-0236 F A X 0794-88-0686
3. 応募者数：120名 30組
4. 費用：19,000円



2011 神戸マラソンで「さい帯血」のPR 11/20

11月20日、第一回神戸マラソンの開催時、沿道応援実施拠点の一つである長田区の若松公園（鉄人28号モニュメント前）にて街頭PR活動を実施しました。同公園内に西宮ホワイトライオンズクラブ様と共同ブースを設置し、応援の観衆の方々にリーフレットとティシュペーパーを配布させて頂きました。



2012 国際ソロブチミスト神戸様 主催のバザーに参加 3/22

ご協力
ありがとうございました



1/19 広報委員会開催

平成23年度 第三回 広報委員会が開催されました。平成24年度啓発事業活動方針、及び「バンクだより第21号」についての協議がありました。

採取提携病院紹介

平成24年3月31日 現在

西神戸医療センター	神戸市西区梶台5丁目7-1	兵庫医科大学病院	西宮市武庫川町1-1
オカ・レディース・クリニック	神戸市北区大原3丁目8-1	高橋産婦人科クリニック	西宮市和上町6-22
尼崎医療生協病院	尼崎市南武庫之荘12丁目16-1	久保みずさレディースクリニック	神戸市西区美賀多3丁目13-8
あさぎり病院	明石市朝霧台1120-2	上田病院	神戸市中央区国香通1丁目1-4
医療法人バルモア病院	神戸市中央区北長狭通4丁目7-20	松岡産婦人科クリニック	神戸市北区緑町1丁目6-18
兵庫県立西宮病院	西宮市六湊寺町13-9	大森産婦人科医院	高砂市伊保港町2丁目5-17
맘クリニック	神戸市北区有野町唐櫃3389	関西労災病院	尼崎市稲葉荘3丁目1-69
市立伊丹病院	伊丹市長尾池1丁目100	清水産婦人科医院	宝塚市南口2丁目2-4

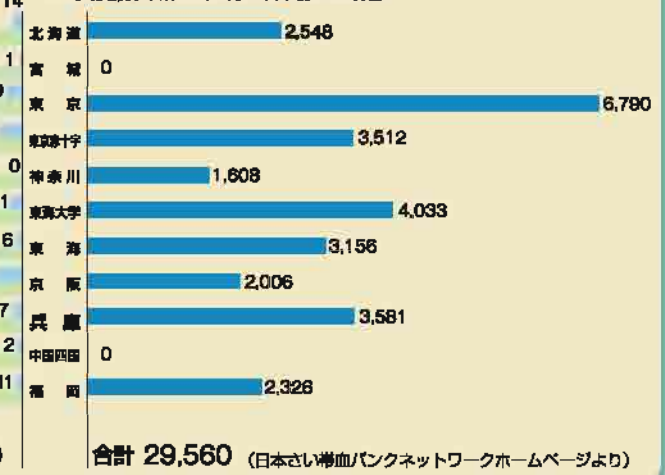
平成24年3月31日 現在

各バンク別 さい帯血供給数・保存さい帯血の公開数

●供給数 平成24年2月29日現在 (速報値)



●公開数 平成24年3月31日午前3:02現在



認定NPO法人 兵庫さい帯血バンク 役員

平成24年3月31日

役職	名前	所属	役職	名前	所属
理事長	後藤 武	財団法人兵庫健康財団 副会長兼理事長	理事	高橋 隆幸	医療法人社団神備会 神備病院 血液センター センター長
副理事長	原 宏	医療法人財団樹徳会 上ヶ原病院 名誉院長		太城 力良	学校法人兵庫医科大学理事 病院長
	丸尾 猛	兵庫県立こども病院 病院長		藤見 信哉	医療法人バルモア病院 院長
	有田 美智世	NPO法人兵庫さい帯血バンク 支援ボランティアの会代表世話人		畑山 裕子	西宮ホワイトライオンズクラブ 前会長
常務理事	堅田 博行	タキヤ株式会社 営業部理事担当マネージャー		伴 智代	神戸骨髄献血の和を広げる会 代表
	小出 紀久男	国際ロータリークラブ 第2880地区ロータリー財団 財務管理委員長		馬 洲 理	兵庫県赤十字血液センター 所長
理事	石野 順子	国際ソロプチミスト神戸 元会長		丸橋 正紀	ライオンズクラブ国際協会 335-A地区 献血・社会福祉・環境保全委員長
	小川 啓 恭	学校法人兵庫医科大学 血液内科主任教授		三戸 壽	兵庫県赤十字血液センター 名誉所長
	甲斐 俊 明	学校法人兵庫医科大学 輸血部教授		村山 徹	兵庫県立がんセンター 検査部長兼血液内科部長
	川真田 伸	(財)先端医療振興財団 先端医療センター研究所 再生医療基盤研究グループ グループリーダー		慶山 充 夫	神戸新聞社 編集局委員長
	岸本 洋子	兵庫県弁護士会所属弁護士 神戸シーサイド法律事務所	監事	東田 雅 俊	日本赤十字社兵庫支部 事務局長
	網巻 敏子	兵庫県看護連盟 顧問		森田 泰 夫	学校法人兵庫医科大学 常勤理事
	小阪 嘉之	兵庫県立こども病院 血液腫瘍科部長	顧問	芦尾 長 司	兵庫県 顧問 神戸山手学園理事長
	小森 慎 二	学校法人兵庫医科大学 産科婦人科主任教授		新家 莊 平	学校法人兵庫医科大学 理事長
	酒井 清	監査法人トーマツ大阪事務所 代表社員	参与	米谷 取	ライスヴァレーA.C.代表
				大谷 光 男	兵庫栄養・調理・製菓専門学校 非常勤講師

新しい命が もうひとつのいのちを救う

あなたも兵庫さい帯血バンクのサポーターに!!



さい帯血の提供者



♥兵庫さい帯血バンクからのおねがいです。

あなたの真心を募金にかえてバンクへの財政支援をお願いします。現在、国庫助成金を中心とした運営をしていますが、円滑な事業運営のためには皆様のご支援が必要です。

- 賛助会員 個人 年会費 1口 2,000円
- 団体 年会費 1口 5,000円

編集後記

さい帯血や骨髄移植などが、造血幹細胞移植として法制化されるという活発な動きがあります。兵庫さい帯血バンクはその方向性に合わせて、患者さんへ今後もより貢献する為邁進致します。皆様のご協力をお願いします。

(広報委員会一円)

寄付金・賛助会費振込先

郵便振替 00930-8-37864

兵庫さい帯血バンク

特定非営利活動法人 認定NPO法人 兵庫さい帯血バンク

事務局 西宮市武庫川町1-1 兵庫医科大学内
TEL 0798-45-6780 FAX 0798-45-6781

発行日 平成24年3月31日

発行者 後藤 武

編集者 有田 美智世

日本さい帯血バンクネットワークのリーフレットより一部引用させて頂きました。
記載のデータは、日本さい帯血バンクネットワーク事業運営委員会の資料に基づきます。